

塩谷郡市医師会だより

平成14(2002)年9月25日 第26号

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野1319番地3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

平成14年度第3回役員会報告

平成14年9月9日(月)午後6時30分

氏家町保健センター内医師会事務室にて開催

出席役員:尾形直会長・大野・西川・池田・山田・
後藤・中川・加藤・小林祐・二井谷・小林正・
大和田・尾形新・川原事務長



大野副会長の議事進行にて次の協議がなされました。

会長からの報告事項

○栃木県医師会雑誌投稿の件(締め切り9/30)

a.意見投稿「医療の質と安全・標準化」 尾形直
宮 下

b.会員の広場「禁煙運動」…森島

c.都市医師会だより…尾形直

d.医会の窓

○栃木県総合医学会(締め切り8/31)

演題「在宅患者のリハビリテーションの実践例」

赤沼

○都市・大学医師会正副会長懇談会(11/2)の協議・
提案事項(締め切り9月末日)

- 1.0-157集団食中毒の県医師会の対応について
- 2.勉強会講師謝礼について、他の医師会では?
- 3.県医師会役員について、理事の位置づけ?

○栃木県医師会臨時代議員会(10/5)の協議・提案

- 1.医療廃棄物処理施設建設の件
- 2.医療保険制度検討会議について
どんな議論があるのか?メンバーである宝住会長
の具体的な考えは?
- 3.高齢者の医療負担について

■病診連携…郡市医師会製作の診療(健康)手帳
池田理事を中心に検討委員会(各医師団及び総合
病院より各1名ずつ)を立ち上げ、来年度の実施を
目指し検討することとなる。

■禁煙の実践

森島会員より提案があり協議した結果

「医師会事務所内を全面禁煙」とする事に決定した。

■会員の異動について

向井 稔:理事、県医師会救急委員

安達 真樹:理事、介護保険・広報・会館建設検当
委員会、県医師会代議員・老人保健策
介護保険委員

両会員異動に伴う後任は、県救急委員に奥山和明
塩谷総合病院長、県介護保険委員は後藤哲郎、郡市
介護保険委員には片岡 孝、会館建設検討委員は
廣木昭彦、広報委員は阿久津正之にそれぞれ決定し
た。

また理事については、年度末に開催される総会にて補充することにした。

■その他

1) 塩谷郡市医師会医学講座

山田研修委員会学術部会長より「研究会等に対する
金銭的援助の可否についての判断基準」という参
考資料が示され、製薬メーカーの協力が得がたくな
ってきたとの、説明があった。今後は予算として計
上してあるもので対応することを確認した。

2) 勉強会講師謝礼について

都市・大学医師会正副会長懇談会、事務長会議等
で情報収集し参考にする。

3) 日本医師会産業医制度産業医学研修会(11/14)

ビデオ研修:「救急・救命処置の一般心得」専門0.5単位
「単身赴任者の健康」専門0.5単位

講 演:「深夜並びに不規則労働者の健康管理
-生活習慣病を中心として」専門2単位

講 師:シャープ産業医 久内 徹先生

4) インフルエンザ予防接種料金について(平成14年度)
塩谷広域内では市町間の料金差(4000円~4200円)

塩谷郡市医師会ホームページ	広報委員会編集部	医師会事務局
URL http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/ MAIL shioya-m1@tochigi-med.or.jp	尾形新一郎 ogata@o-ga-ta.or.jp	川原 shioya@triton.ocn.ne.jp 坂和 shioya@tochigi-med.or.jp

は多少あるが、ほぼ横並びとなっている。但し自己負担や町外での接種した場合の措置（矢板市、氏家町では町外も対応）に差がある。

5) ニューモバックス（肺炎球菌ワクチン）予防接種

県内で決定した医師会はなし（TELにて）
6,000円台から10,000円、多くは8,000円
(メーカーによる) 8,000円が算出根拠
ニューモバックス 0.5ml 薬価 5,053円
初診料 2,700円
注射料 180円

6) 老人健診について

HbA1c 検査を一次検診で実施している場合は、概ねその保険点数より650円を付加することが妥当であるとの見解が示された。

健診対象者の除外者の中に、「現在慢性疾患等で治療を受けている者」とあるが、これは不適当ではないか、との意見が出された。

7) 証明書等の料金について

乳児医療費証明書の料金については、各医療機関での対応が異なっているのが実態であるが、都市医師会としての統一見解を持つことは難しく各医師団での裁量に委ねることとした。

8) 高額医療機器共同利用施設運営委員会

同委員会に出席した西川副会長の報告があった。
現在塩谷総合病院には①体外衝撃波結石破碎装置(ESWL)②磁気共鳴断層診断装置(MRI)③全身用X線コンピューター断層撮影装置(CT)④核医学診断装置(RI)⑤骨密度精密測定装置⑥マンモグラフィー⑦多目的血管撮影装置⑧コンピューター画像処理装置(CR)が設置されており、共同利用施設と位置づけられているが、その利用度は極めて低い状況にある。

ESWLの共同利用率が26.9%（地区外の大田原日赤病院からの利用により高率）と飛び抜けて高いが、その他の設備は10%前後と極めて低い。

9) X線漏影検査について（保守契約など）

団体割引が可能とのことであり、医師会として検当することになった。

10) 電子カルテについて

医師会として電子カルテのデモを検討することになった。

11) 社保審査委員について

審査委員の推薦について検討した。

12) 郡市医師会の社会活動について

地域住民向けの講習会などの開催を検討する。
医家を目の敵にしたような誤った医療報道に対し反論の場を持つべきとの意見が出た。

13) 会員相互の親睦について

塩谷都市医師会では現在、新年会・納涼会を実施しているが、より一層会員間のコミュニケーション強化は必要である。今のところ忘年会を開催する方向で検討することにした。

14) 栃木県医師会メールマガジン発行（10月実施予定）

*栃木新聞記載予定記事の目次を中心に「保険委員会開催報告」及び「五者会談の結果」をそのまま原文でメールマガジンに掲載される。

(昨年の広報・情報化アンケート調査で、会員からの要望が高かった「保険情報を」を重視した)

*その他、速報性のある情報があった場合は随時メールマガジンで配信される。

*ホームページ更新情報

15. ペイオフの対応

塩谷都市医師会の預金は足利銀行を利用してますが、いまだ未だペイオフ制度の実施には不確定要素が多く、もうしばらく経緯を見ることにした。

16. リース契約について

OA機器等の技術改心は目覚しく、リース契約の方が実情に即しているので、コピー機、プロジェクターをリースで契約した。

また、医師会専用車は購入後11年を経過し買い換えの時期であり、リース契約にて購入との案もあったが、車の使用度を考慮し現車のままとすることにした。

第320回塩谷都市医師会医学講座

演題：「保険点数請求の疑義解釈」

—請求ミスのないレセプトを目指して—

講師：東京保険医協会事務局 栗林 令子氏



保険請求における注意項目を具体的に細かく説明していただいいた。

【受付】

- ・保険証の変更・無資格での返戻が多い
- ・顔パスに注意
- ・保険証を提示しなかった場合の対処法を院内で決めておく

Q 保険証を提示しないで10割もらった時の返金の期限は

A 期限をもって返金する

(期限は院内で決めておく)

*老人についても保険証を提示しない場合は10割もらってよい

【初診・再診】

- ・初診、再診時の病名入力ミスが多い。
- ・時間外、休日、深夜の加算に注意
(連絡モレのないように)

【投薬】

- ・内服薬の1割が定義
- ・飲み方が違うものは、入力を別にする
- ・1回の処方で投与できる日数の上限が廃止
- ・(長期旅行などの事情がある場合1日30日分を限
限とする)

【10月1日から実施】

- ・3歳未満の乳幼児の外来負担率を3割から2割へ
引き下げ
- ・老人医療対象者
75歳以上の者(2002年9月30日において70歳以上)
65歳以上75歳未満の市町村長の障害認定を受け
ている者
- ・前期高齢者
老人保険医療受給者証が新たに発行される
2002年10月1日以降70歳に達する者で老人医療
対象者以外の75歳未満の者
- ・前期高齢者証が発行される
その他いろいろなお話がありましたが、割愛させ
ていただきます。

(文責・大和田信雄)

6) 戦後の歴史

各医師団毎に書く

どういう医療機関があったとか、どんな行事を行つ
たかなど

氏家：桧山、岡 矢板：池田 塩谷：戸村
高根沢：小林祐、阿久津正 喜連川：小林正

7) その他

*保険医総辞退関連：桧山 *医学講座関連：池田

*ゴルフ関連：後藤 *産業医関連：黒須

*介護保険関連：小林正・尾形新

*ホームページ関連：尾形新、戸村

*エピソード

なかなか払ってくれない保険料：桧山

他のエピソード：投稿

上野病院関連

国保診療所関連

8) 写真のページ

9) 福祉関係

母子センターの話(氏家、高根沢)

予防接種関連：軽部

健康診断関連：役場に問い合わせる

学校医関連：委員長

次回は11月15日(金)19時より桧山医院にて
開催予定 (文責・戸村)

第1回塩谷都市医師会史委員会報告

8月30日(金)18:30~20:15 桧山医院にて
以下のように検討しました。

1) 各医療機関の自分史

- ・12月までに各医療機関の現在の院長のことを書く
- ・内容は各自に任せる
- ・字数は従前どおり 19字×32行(病院も同じ)
- ・歴史の長い医院は昔の部分は別に記載…4) 参照

2) 戦後の塩谷都市の歴史(資料として残っているもの) (担当：戸村)

3) 大きな病院

塩谷総合病院(担当：院長、池田)

黒須病院(担当：黒須)

4) 明治から塩谷郡内で続いている医療機関

関係者に書いていただく

5) 戦前の歴史(江戸時代あたりから戦前にかけて) どのような医療機関があったとか、判る範囲で 喜連川・高根沢・氏家地区担当：桧山、岡 矢板地区担当：池田 塩谷町地区担当：戸村

塩谷都市病診講演会のお知らせ

日 時：平成14年10月8日(火)19時より

場 所：氏家町保健センターセンターハウス

演 題：『医療健康保険制度の仕組みとその精神』

講 師：中山医院 院長

中山 敏夫 先生

*当日は軽食をご用意しております。

